

QURUWA と、PUBLIC LIFE

— 公民連携による、豊かな公共空間のある暮らし —
【R7.6 オカエキフォーラム】

岡崎市 都市政策部

まちづくり推進課 QURUWA戦略係

小林 佑大

- 1 QURUWAの概要
- 2 乙川エリアの取り組み
- 3 7町連合会の動き
- 4 まちづくりによる変化

QURUWA地区

4



一級河川矢作川

QURUWA地区：約157ha

国道1号

りぶら

岡崎城

岡崎市役所

一級河川乙川

名鉄東岡崎駅

QURUWAの特徴



QURUWA戦略を行う理由

市の都市経営の将来想定

- ・ 経済縮小（雇用・所得減）
- ・ 税収減少
- ・ 歳出増大
- ・ 生活環境の悪化

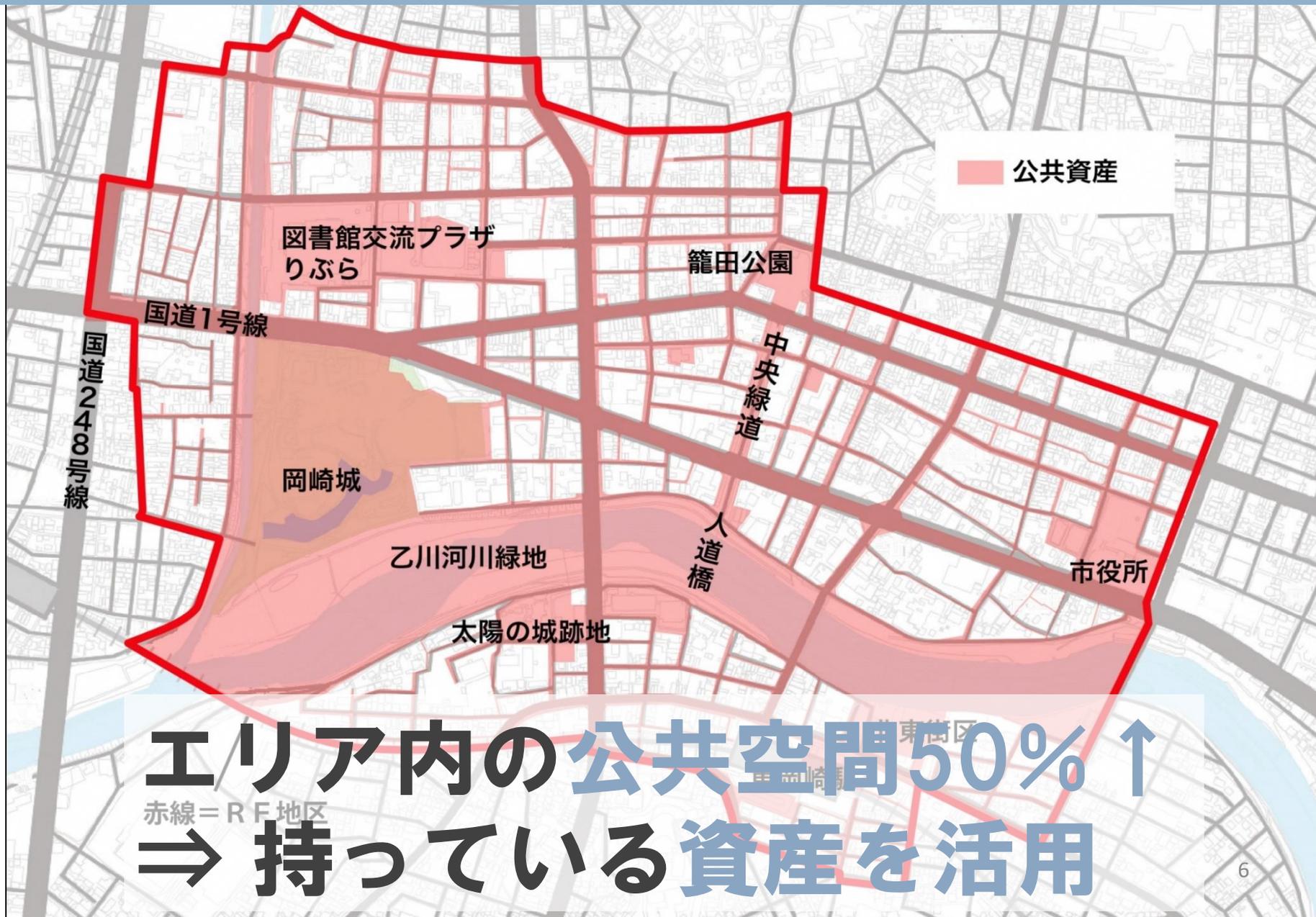
QURUWA地区の状況

- ・ 康生地区の衰退（商店数が1/4に）
- ・ 高齢化の進展（高齢化率30%越）
- ・ まちの魅力の希薄化
- ・ 働き方・雇用の多様性の欠如

持続可能な都市経営には
市の中心市街地である
QURUWA地区の再生が不可欠

QURUWAとは：特徴

(戦略P2)



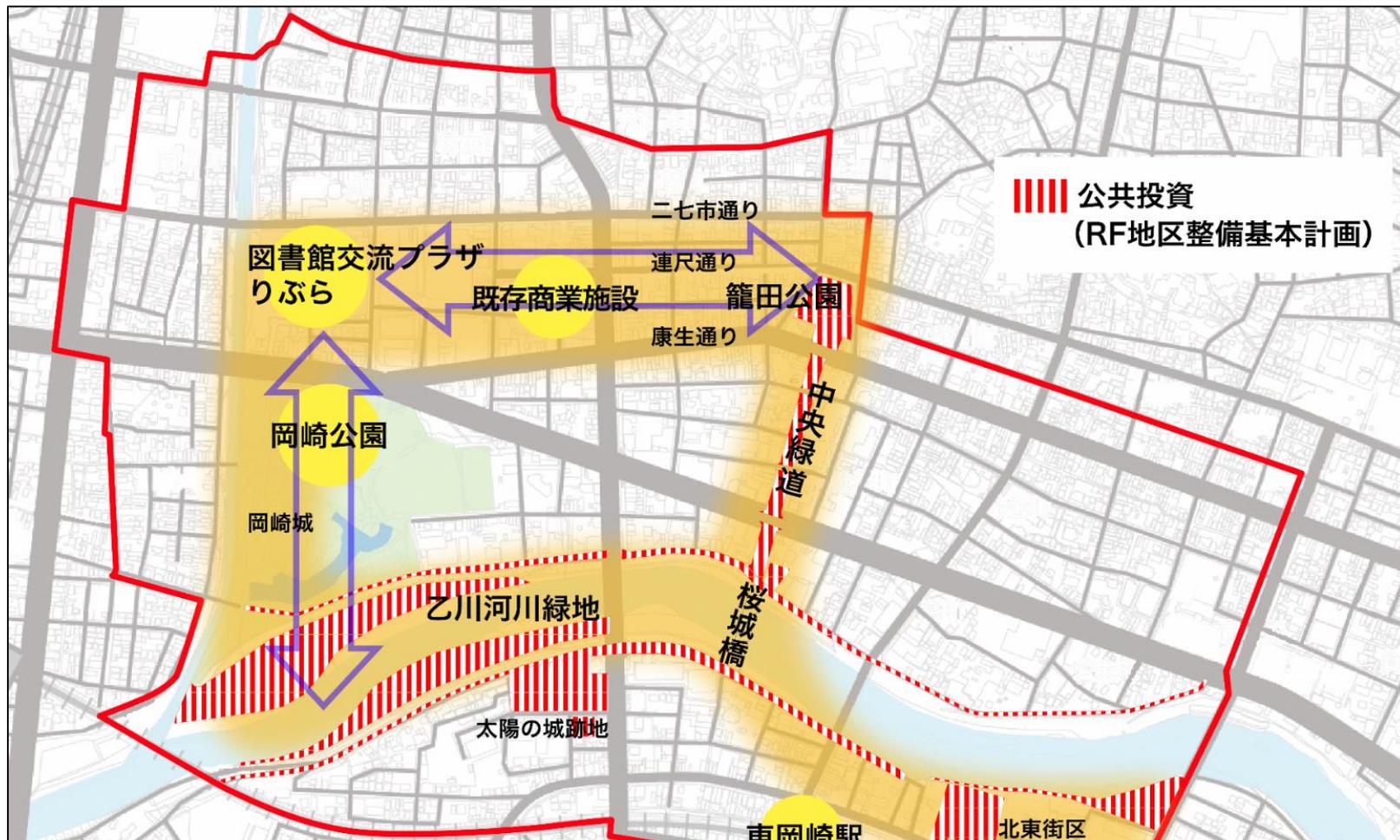
公民連携とは

行政と民間が、志と責任・権限を持ち、役割分担をしながら連携し、地域が抱える多くの課題を解決するとともに、良質な公共サービスの提供を図る。



QURUWAとは：つくりかた

(戦略P2)



乙川RF地区の多様な魅力を味わうことができる約3kmの主要回遊動線。かつての岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」の一部と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから「QURUWA」と命名。

QURUWAの目指す姿

これからの100年を暮らすまち
—新しい住み方・働き方・遊び方を楽しむ—



- 1 QURUWAの概要
- 2 乙川エリアの取り組み
- 3 7町連合会の動き
- 4 まちづくりによる変化

危ないから遊ばない場所へ



おとがら! ンダランド





おとがワ!ンダーランド

2016

(1年目)

「自由と責任」
とにかく
つかってみる。

実施期間：7月19日～9月4日（27日／48日）

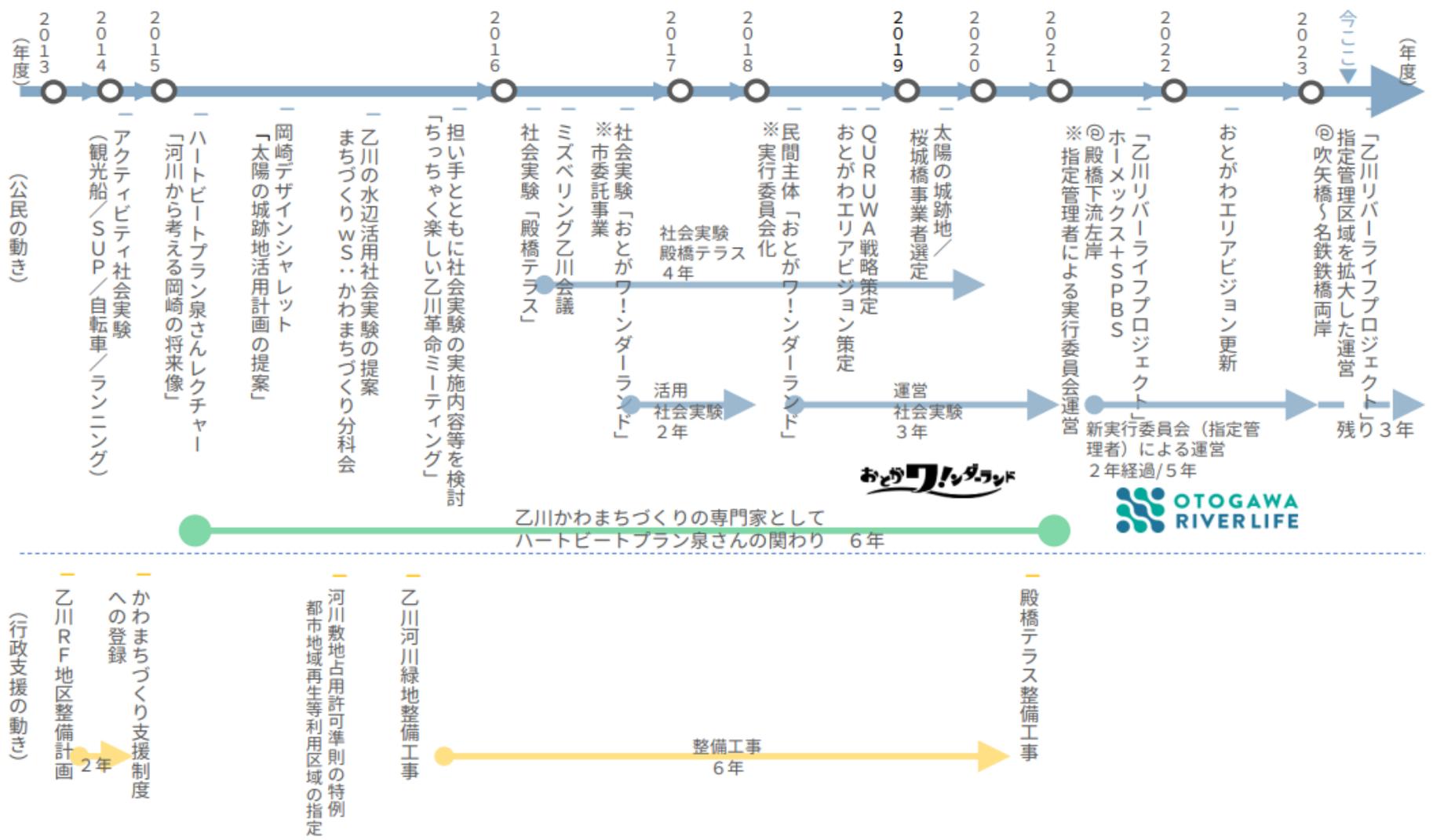
実施団体数：32団体

プログラム数：34プログラム

来場者数：約3,400人

かわまちづくりのプロセス

乙川かわまちづくりの公民連携プロセス



自然・環境

身近に川の恵み（生態系）を感じ、
見方が変わり、感動の体験が起こる場所

ビジョンを実現するための具体アクション

① 自然観察会&子ども向け学習会の実施

貼つかみ体験、川の変化観察、岩石探検、
生き物・自然観察…

② おとがわ掲示板の設置

こんな魚・鳥がいるよ!、乙川物語、
生き物・植物のレア度看板

③ クリーン大作戦の実施

乙川クリーン大作戦の日、ゴミ拾いコンテスト



いつもの乙川（過ごし方）

つい子どもが遊ぶ、つい皆がゴミをひろう。
つい訪れたい場所

ビジョンを実現するための具体アクション

① 道具の貸出し

虫かごやバケツ、ライフジャケットなど
自然と触れ合う道具の貸出し

② 川でのあそび方掲示板

乙川でできること看板、
水きりの記録ランキング表

③ ワークスペース × ピクニック × 学生

まちで働くことができる、ピクニック、
学生は学校帰りに立ち寄れる



風景

なつかしさと新しさが調和する「岡崎らしさ」
に支えられた風景が見つかる場所

ビジョンを実現するための具体アクション

① QURUWA 百景・フォトコンテストの実施

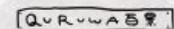
みんなが乙川の中で好きな場所を言える

② 整った景観の整備

建物の高さ・色・広告等のコントロール

③ 桜を残す方法の検討

桜のある風景を残したい。残す方法を考えたい



乙川エリアの将来像 第3章

自然と都市が交わる暮らし

乙川エリアの将来像（自然と都市が交わる暮らし）を
より具体化するために、乙川の要素を6つのレイヤーに分け、
ワークショップ等で出された意見を参考に、
キャッチコピー（あいことば）やビジョンを実現するための
具体アクションを抽出した。

コミュニティ（つながり）

対話を重ね、みんなが認め合い、
みんなで乙川に意識が向いていく場所

ビジョンを実現するための具体アクション

① 焚き火トークの開催

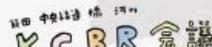
みんなで焚き火、日本一の焚き火大会、木材の循環をつくる

② KCBMの乙川版の開催

乙川について地域住民同士が語り合う場、
他エリアとの情報交換

③ あいさつをする

日常的に散歩をしている人へあいさつ運動の普及



特別な日の乙川（使いかた）

乙川ならではの使いかたや楽しみが生まれる、
また遊びに行きたくなる場所

ビジョンを実現するための具体アクション

① イベントの情報発信の実施

一元化された看板やウェブサイトでのPR、
多様なイベント情報の発信

② 結婚式など人生の節目 の会場として利用

まちの知り合いや事業者と
ともにつくる記念日

③ 春・夏・秋・冬で楽しめるお祭りの実施

子どもが遊べる定期的なイベント、乙川まつり



周辺エリアとのつながり

まちとまち、森とまち、人と人。
多様なストーリーからつながる場所

ビジョンを実現するための具体アクション

① 周辺エリアとつながるモビリティ

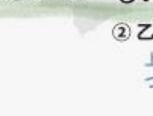
シェアサイクル、電動キックボード、
少人数カー

② 乙川を SUP で下る

上流部と中継、SUP+歩きで
つながりを感じ

③ QURUWA 周遊ツアーの開催

乙川から始まる歴史ツアー、
周辺商店とつながる食べ歩き・飲み歩き



「自然と都市が交わる暮らし」実現のために私たちができること

SUPが浮かぶ風景を乙川の日常に

プロジェクト名：乙川SUP体験

実施団体名：waileo SUP school & tours

実施ゾーン：水上ゾーン

プロジェクト開始年：2016年～（8年目）



■事業概要

SUPが浮かんでいる乙川が日常風景となり、またこの場所からSUPボードをもって海や山へ繰り出していく。そんな拠点になることを目指して乙川SUP体験事業が行われている。事前予約をすることで、ボードやパドルなど必要な備品とインストラクターの指導をセットにしたSUP体験ツアーの実施や、乙川河川敷で行われるイベントへの出店も行っている。

「自然と都市が交わる暮らし」実現のために私たちができること

岡崎を愛犬と共に楽しめるまちに

プロジェクト名：犬市場

実施団体名：WAN'S team合同会社

実施ゾーン：殿橋～名鉄鉄橋 南側ゾーン、北側ゾーン

プロジェクト開始年：2020年～（3年目）



■事業概要

2020年にスタートした愛犬と一緒に一日中楽しめるドッグイベント。こだわりの愛犬グッズのマルシェはもちろん、ドッグラン、舟、SUPやヨガなど愛犬と一緒に楽しめるアクティビティも行われている。広々とした河川敷を活かし自然の中で愛犬と共に食事をしたり買い物を楽しめる場所として活用している。

「自然と都市が交わる暮らし」実現のために私たちができること

他にはない地域に根差したナイトマーケットの実現

プロジェクト名：乙川ナイトマーケット

実施団体名：乙川ナイトマーケット実行委員会

実施ゾーン：殿橋～名鉄鉄橋 南側ゾーン

プロジェクト開始年：2017年～（7年目）

■事業概要

岡崎城下を流れる乙川河川敷で、「岡崎名物の一つとなるような夜市を開催したい。」「私たちの街を、私たちの手で、楽しいものになりたい。」そんな想いで2017年から始まった夜市。夏から秋のシーズンに開催。スタート時は第4土曜日のみの実施だったが、2021年から月に2回の開催に実施回数を増やし第2・4土曜日に実施している。キッチンカーや飲食店と、ワークショップや物販テントなどが河川敷にずらりと並ぶ風景は、乙川の風物詩となりつつある。また、小さな親子連れや高校生のグループも多く、子どもたちにとっても楽しい場所となってきている。

「自然と都市が交わる暮らし」実現のために私たちができること

朝市とプランター菜園を市民の憩いの場に

プロジェクト名：新鮮野菜の朝市

実施団体名：NPO法人おかざき農遊会

実施ゾーン：殿橋～名鉄鉄橋 南側ゾーン

プロジェクト開始年：2016年～（8年目）



■事業概要

家庭菜園や公園での栽培体験を通じて、健康な体をつくり仲間を増やしていく「菜園都市おかざき」の実現に向けて活動している。その活動の一環として生産者がつくったものを直接販売する「新鮮野菜の朝市」を月に2回乙川河川敷で実施している。2016年から継続して実施することで、常連のお客さんも増え、生産者さんとの会話をしながら野菜を買うという新しい日常が生まれてきている。



「自然と都市が交わる暮らし」実現のために私たちができること

日本で一番愛される川を目指す

プロジェクト名：おとがわりパークリーン

実施団体名：ONE RIVER

実施ゾーン：乙川エリア一体

プロジェクト開始年：2017年～（5年目）

■事業概要

毎月第2土曜日に実施している環境美化（ゴミひろい）活動。ONE RIVERの声かけにより集まった有志により、約1時間河川敷や川底に落ちているゴミひろいを行っている。また、年に一度12月の第2土曜日は規模を拡大しイベント形式にして実施。いつものゴミひろいに加えてゴミの分別やワークショップなどを行い、参加者とともにそのゴミがどこから来たのかを考える場を設けている。

乙川エリアで行われるプロジェクト 第4章

乙川エリアにて具体プロジェクトを推進している行政担当課 8 課と民間 16 事業者 (21 プロジェクト) を対象に個別ヒアリングを実施し、その内容を整理して掲載した。プロジェクトの基本情報、プロジェクトを実施するに至ったきっかけ、プロジェクトを実施する上での成果や課題、プロジェクトの今後の目標 (短期、中期、長期)、おとがわエリアビジョンの実現に向けて自身の事業を通してできること。等をヒアリングした。

行政・民間事業者はこれらの目標に沿って、自身の事業を推進していくことで、エリアビジョン (自然と都市が交わる暮らし) の実現を図る。



**新たなビジネスモデルを作り、
多くの人を乙川に連れてくる**

プロジェクト名: アウトバックガレージマーケット
実施団体名: リバーライフ推進委員会
プロジェクト開始年: 2021 年 ~ (3 年目)



**スポーツツーリズムをきっかけに
まちを訪れる人を増やす**

プロジェクト名: フィールドディスカバーゲーム
実施団体名: リバーライフ推進委員会
プロジェクト開始年: 2021 年 ~ (3 年目)



**川であそび、川にまなび、
川とあそぶ**

プロジェクト名: 川びらき、川あそび、川くらし
実施団体名: ONE RIVER
プロジェクト開始年: 2019 年 ~ (5 年目)



**子どもがワクワクしながら
大人になっていくまちに**

プロジェクト名: キャンピングオフィス
実施団体名: スノーピークビジネスソリューションズ



**キャンプをきっかけに、
川やまちを好きになる。**

プロジェクト名: Let it Camp
実施団体名: ONE RIVER
プロジェクト開始年: 2019 年 ~ (5 年目)



**企業と地域の懸け橋となり、
ひとりひとりが活き活きと働ける社会に**

プロジェクト名: Local work Tourism
実施団体名: スノーピークビジネスソリューションズ
プロジェクト開始年: 2021 年 ~ (3 年目)



**岡崎の人と連携しながら、
外から人を呼んでくる**

プロジェクト名: ソウルフードジャム
実施団体名: リバーライフ推進委員会
プロジェクト開始年: 2021 年 ~ (3 年目)



**SUP が浮かぶ風景を
乙川の日常に**

プロジェクト名: 乙川 SUP 体験
実施団体名: walleo SUP school&tours
プロジェクト開始年: 2016 年 ~ (8 年目)



**自転車であちと人、
人と人をつなぐ**

プロジェクト名: スポーツバイク・マウンテンバイク体験会
実施団体名: サイクルびっとイノウエ
プロジェクト開始年: 2017 年 ~ (7 年目)



**ヨガを通じて、
このまちに貢献する**

プロジェクト名: おとがわサンデーヨガ
実施団体名: STUDIO ALMA
プロジェクト開始年: 2021 年 ~ (3 年目)



**自然の中で走る
喜びと楽しさを提供**

プロジェクト名: オカザキリバーサイドマラソン
実施団体名: オカザキリバーサイドマラソン実行委員会
プロジェクト開始年: 2019 年 ~ (5 年目)



**他にはない地域に根差した
ナイトマーケットの実現**

プロジェクト名: 乙川ナイトマーケット
実施団体名: 乙川ナイトマーケット実行委員会
プロジェクト開始年: 2017 年 ~ (7 年目)



岡崎を愛犬と共に楽しめるまちに

プロジェクト名: 犬市場
実施団体名: WAN' S team 合同会社
プロジェクト開始年: 2020 年 ~ (4 年目)



**出店者さんとともに乙川の素敵
な過ごし方を発信しつづける**

プロジェクト名: HANDMADE SELECT MARKET
実施団体名: ハセマ実行委員会
プロジェクト開始年: 2018 年 ~ (6 年目)



**環境や健康にやさしい
暮らしを日常に**

プロジェクト名: オトマルシェ
実施団体名: (株) mono and
プロジェクト開始年: 2022 年 ~ (2 年目)



**水中でも陸上でもトレーニング
できる乙川に**

プロジェクト名: ジュニアランニングスクール
実施団体名: ランニングスクール ST
プロジェクト開始年: 2020 年 ~ (3 年目)



**朝市とプランター菜園を
市民の憩いの場に**

プロジェクト名: 新鮮野菜の朝市
実施団体名: NPO 法人おかげ農道会
プロジェクト開始年: 2016 年 ~ (8 年目)



**星や月の観察を通じて、
自然を愛する心と大きな夢を育む**

プロジェクト名: おとがわ星空観望会・月待会
実施団体名: 岡崎星と遊ぶ会
プロジェクト開始年: 2016 年 ~ (8 年目)

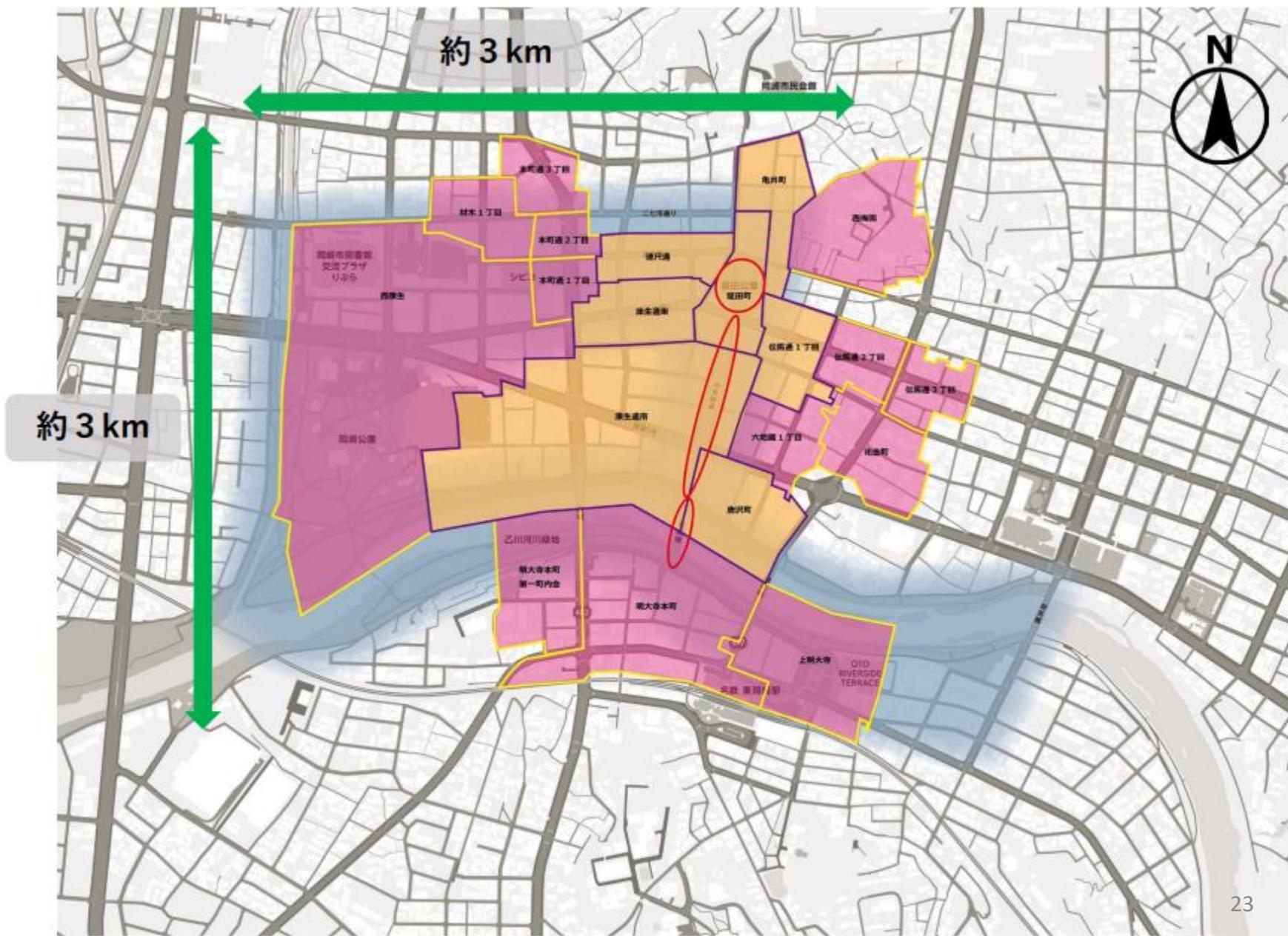


自分のまちを愛する人を増やす

プロジェクト名: 桜城橋ふき・殿橋洗い
実施団体名: あいち橋の会
プロジェクト開始年: 2020 年 ~ (3 年目)

- 1 QURUWAの概要
- 2 乙川エリアの取り組み
- 3 7町連合会の動き
- 4 まちづくりによる変化

QURUWA7町・広域連合会の区域



7町・広域連合会が生まれた経緯

-
- 2016 ● 籠田公園・中央緑道に面した7つの町内住民が「中央緑道検討会議」へ参加
 - 2018 ● 岡崎市が籠田公園の活用と管理について考えるワークショップ開催
「かつて籠田公園で行われていた盆踊りを復活させよう」
 - 2019 ● 7月 ● 籠田公園リニューアルオープン
 - 8月 ● 「籠田公園夏祭り」にて盆踊り復活!!
7町周辺の町内会より「参加したい」という要望
 - 11月 ● 「広域自治会連合発足説明会」開催
以後、毎月「7町・広域連合会」の定例会を開催
 - 2021 ● 3月 ● 中央緑道リニューアルオープン
 - 4月 ● 「7町・広域連合会」の会議名称を「籠田公園・中央緑道・桜城橋マネジメント検討会議（通称:KCBM*）」へ変更

*KCBM = Kadoda Park / Central Avenue / Bridge / Management

自治会の連合体「7町・広域連合会」の組成



盆踊り復活!!

自治会主体によるエリアマネジメント/コミュニティづくりの動き

7町・広域連合の
会合にどんどん
参加者が増え、
顔の見える関係が
できてきている

もともとあった
町人同士のつながりを
復活させる最後の
チャンスと捉えている

事務局：筒井さん（南康生副総代）

明らかに今までと
来る層が変わってきた

籠田公園では
滞在時間が増えて、
使い方も多様に
なっている

相談役：安藤さん



7町・広域連合

籠田公園・中央緑道再整備を機に生まれた自治会連合。

月1の定例会には、地域・事業者・行政など50名以上が参加し、連携調整のプラットフォームに。

自治会主体によるエリアマネジメント/コミュニティづくりの動き

7町・広域連合会

役員会 (月1回)

<参加者>
7町自治会長・磯部市議
事務局

KCBR (毎月or隔月)

第二部

※これまでのKCBMの機能

連絡/合意の場

<参加者>

KCBM (月1回)

第一部
籠田公園/中央緑道
桜城橋の利用・活用方法
課題の検討

QURUWA全域+周辺地域自治会長
副自治会長や次世代の担い手・その他自由

(株)南康生家守舎

南康生に特化したエリアマネジメント会社

収益事業

- ・(株)Q-NEXT
- ・南康生家守舎

まちへの再投資

承認・助言

提案・実績報告

定例会議

(月1回)

議題は持込形式
PRタイム等
議題が無ければ
分解会利用可

包括会議

(月1回)

福祉関連の検討

【任意団体】7町・広域連合会 次世代の会

各分科会活動 (不定:各分科会により設定・自主的に実施・自走)

A.不動産戦略部会

空き家・空き店舗
と出店希望者の
マッチング

B.福祉

おさすけねっと部会

高齢者のお困り
の把握と支援
ニーズの検討

C.イベント部会

内外の交流
イベント企画/
実施支援

F.子育て支援部会

子ども・母親・託児
等の支援・課題検
討

D.SDGs関連部会

各分野のSDGsの取り組みやQURUWAの独自のゴール設定

E.景観デザイン部会

QURUWA地区の魅力をより高めるための景観視点のまちづくり

実動

幹部会 (必要に応じ)

任意団体・法人の総合プロデューサー



 GOOD DESIGN AWARD 2023
グッドデザイン金賞

審査委員の評価

担当の審査委員

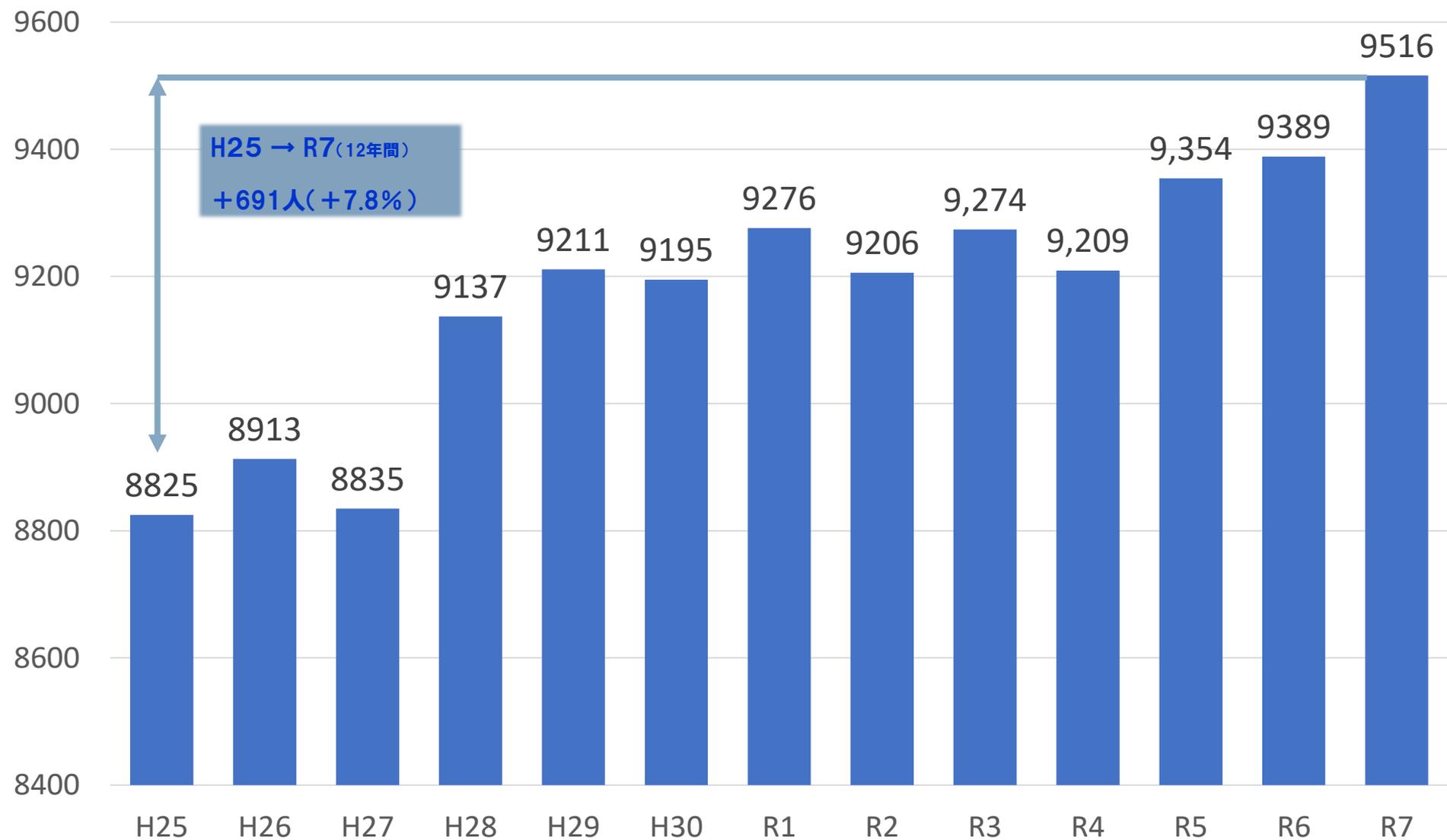
伊藤 香織 川西 康之 倉方 俊輔 平賀 達也 山崎 健太郎 Jian Liu

評価コメント

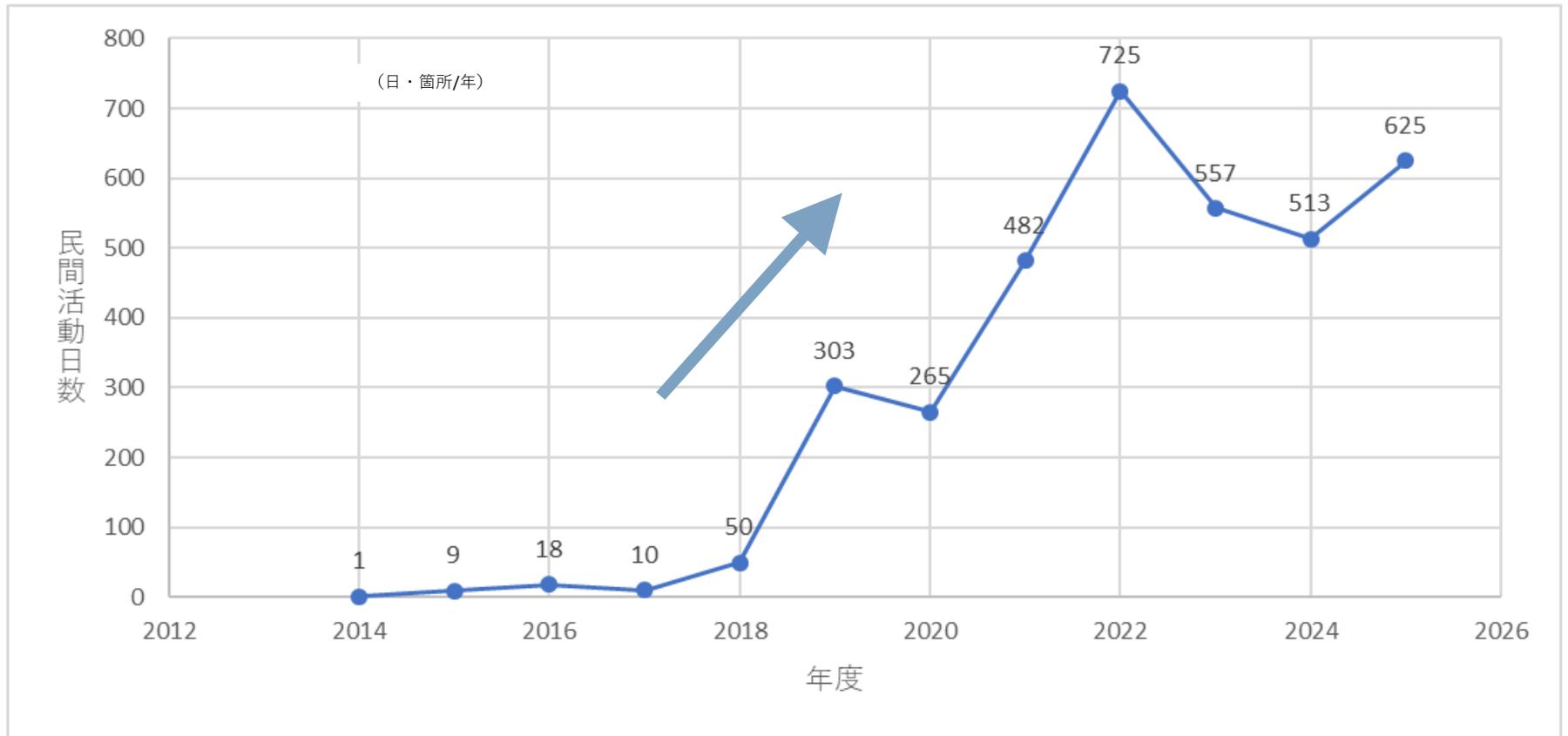
岡崎市中心市街地の主要街路と川辺を結び再生させていく都市戦略。行政による公園・緑道・河川敷など公共空間の改修である「大きなリノベーション」と、それにインスパイアされて自分たちのまちを主体的に担っていくとする地域や民間による活動や空間づくり「小さなリノベーション」の双方が、まちに再び市民の居場所を創出するものになっている。公・民がそれぞれの立場を活かして協働することで創造性が発揮されている好例である。

- 1 QURUWAの概要
- 2 乙川エリアの取り組み
- 3 7町連合会の動き
- 4 まちづくりによる変化

地区内の人口推移



公共空間における民間活動日数 ※社会実験除く



新規出店数

出店等内訳

■ 新規出店

● R1 : 7件

● R2 : 11件

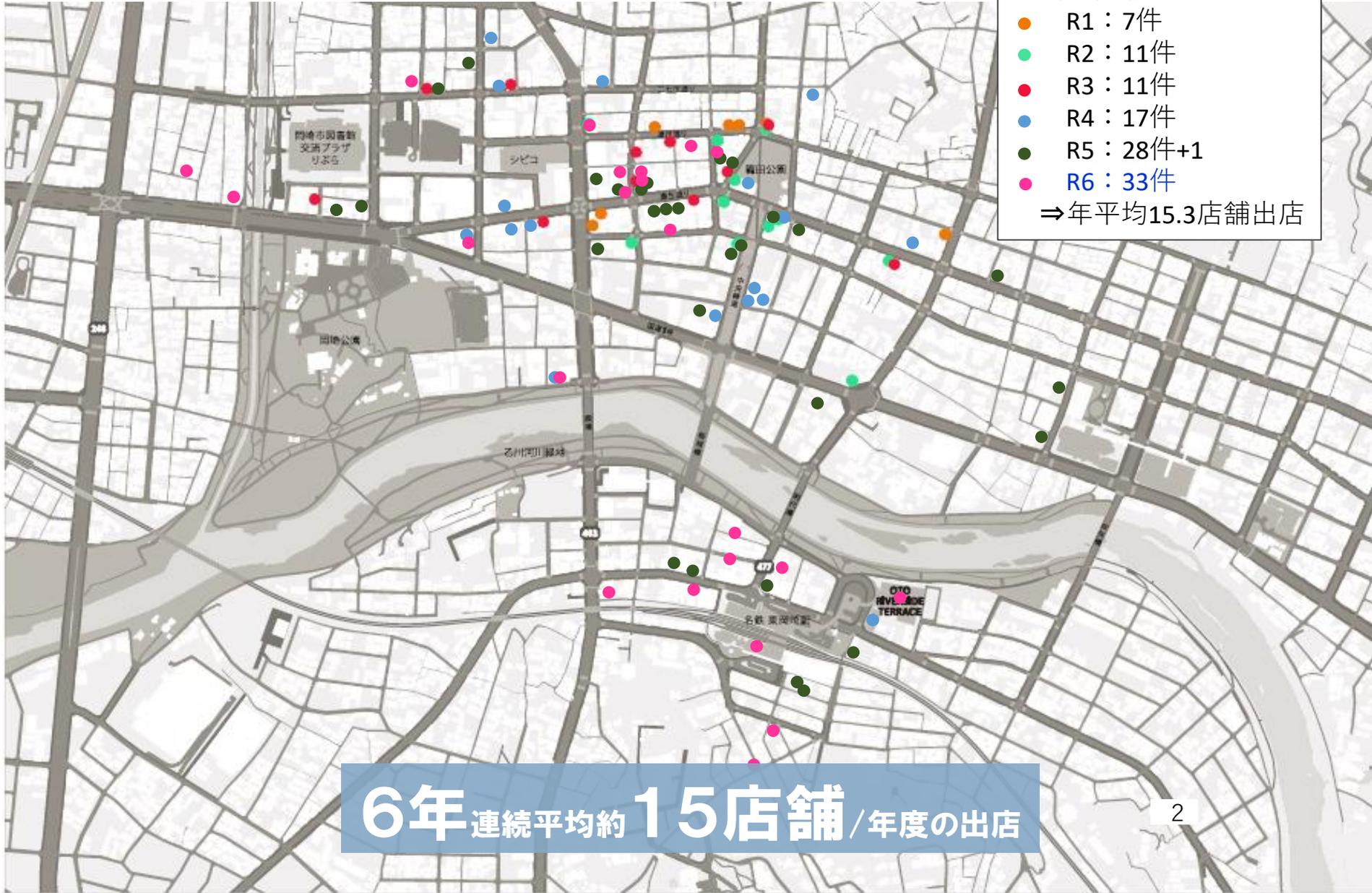
● R3 : 11件

● R4 : 17件

● R5 : 28件+1

● R6 : 33件

⇒ 年平均15.3店舗出店



QURUWAの魅力そのもの

小さなリノベーション@QURUWAでトライし続ける人々をご紹介します



ローカル発クリエイターユニット

檸檬(れもん) 下里杏奈さん、山田美法さん



龍田公園を愛し、見守り続ける市民団体

龍田公園地域みらい勉強会のみなさん



寒によるゆるやかな健康へのアプローチ

NEKKO OKAZAKI
株式会社パナドーム 藤井伸昌さん



デザインの地産地消を目指すデザイナー

ケルンデザインオフィス 岡田侑大さん



乙川から始まる自分たちの「好き」を広げる

ONE RIVERのみなさん



まちの新しい視点「暮らし観光」を推進

Okazaki Micro Hotel ANGLE 飯田圭さん



障害福祉とまちをつなぐ起業家

NPO法人コネクトスポット
山下祐司さん



QURUWAが始まる前からの活動家

NPO法人岡崎まち育てセンター・リタ
天野裕さん



QURUWAが始まる前から愛むレストラン

小料理屋écumer 石川英恵さん



機を愛する変態公務員(笑)

あいち橋の会 宮川洋一さん



ローカルフォートで「好き」の循環を生む

岡崎カメラ
山本倫子さんと山崎翔子さん



まちの赤白を感じてトライし続けるインベーター

Eins&Zwei 平山徹さん



大家とレストランのラブストーリー

群柳美智子さん(大家)と
野菜日和 鈴木秀夫さん(借主)



地域を愛する4代目

榊Q-NEXT 代表 柏木克友さん



平素の「ふつう」をみつくる

暮らしがた冒険家 伊藤菜衣子さん



IT×自然や地域とのつながりをつくるハブ

株式会社「ノビ」"ビジ"社リノベーション
村瀬亮さん



20代同世代の仲間を増やす

611 中田修平さん、武田和温さん



次世代の会けん引する若旦那

次世代の会代表 佐谷繁さん



まち医者の建築家集団

studio36一級建築士事務所



暮らしの中でみながら子育て

みんなのおうち連尺 小松恵利子さん



自治会長たちと次世代をつなぐ循環させる

7町・広域連合会事務局 筒井健さん



できることからスコシズツ

スコシズツプロジェクト
榊笠子さん、近藤楓さん



同級生が仕掛けるこだわりの喫茶室

一隆堂喫茶室
畑添章宏さん、鶴田圭介さん



ママたちのほしい暮らしをつくる

wagamama houseのみなさん

こうして生まれた
場所、風景、活動、人が、
まちの魅力になっている。

QURUWA 戦略

なぜ QURUWA 戦略が必要なのか、誰がどうやっておこなうのかなど、これからのこのまちの新しい暮らし方、働き方、遊び方を実現するための道しるべです。



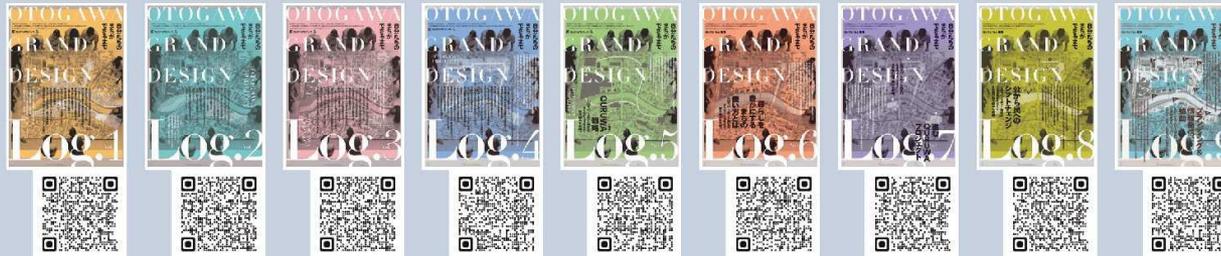
リノベーションまちづくり

2015年からはじまる QURUWA のリノベーションまちづくりについてその5年間を振り返ったパンフレットです。



Log

乙川リバーフロント地区のまちづくり軌跡 (Log) を記録した冊子。vol.3以降 p.2に各年度の戦略が示されていますので、そこから読み進めることをおすすめします。



QURUWA 刊行物マップ

QURUWA 通信

2017年の社会実験「MeguruQuruwa」の内容や、2018年のかわまちづくり、通りの社会実験、籠田公園の内容が写真を中心に紹介されています。どんな公園なのか?どんな橋なのか?イラストでわかりやすく解説されています。



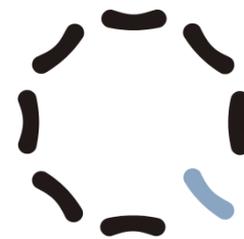
パンフレット

QURUWAの人気スポットである「籠田公園」と「桜城橋」、そして「中央緑道」のパンフレット。どんな公園なのか?どんな橋なのか?イラストでわかりやすく解説されています。



以上となります。

ご清聴ありがとうございました。



QURUWAウェブへのアクセス、
Instagramのフォローをお願いします。

• ブラウザで検索→



• Instagramで検索→

